

令和6年度 新宿区子ども未来基金 助成活動報告書



令和7年3月

【問合せ先】

新宿区子ども家庭部子ども家庭課企画係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1

TEL : 03-5273-4261 (直通)

FAX : 03-5273-3610

E-mail : ko-kikaku@city.shinjuku.lg.jp

令和6年度新宿区子ども未来基金助成活動（17活動）

番号	活動名	団体名	活動内容	問合せ
1	ユニコーン	西新宿子ども食堂	子ども食堂	Tel：090-4244-9048 Mail：ihara-i@r5.dion.ne.jp （担当：井原）
2	新宿こども食堂 たんすまち	新宿こども食堂たんすまち	子ども食堂	Mail：shinjuku.kodomoshokudo@aol.jp （担当：事務局）
3	子ども食堂	かしわぎ子ども食堂	子ども食堂	Tel：090-1207-4919 Mail：kasiwagikodomo@gmail.com （担当：佐藤）
4	ニコニコ子ども パントリー ピックアップ	特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト	フードパントリー	Tel：090-3904-2801 （担当：猪爪）
5	ごはんと学びfor 東京キッズ	Tokyo Kids Supporter	子ども食堂/学習支援	Tel：080-3345-1370 Mail：tokyokids21@gmail.com （担当：ミア）
6	歌舞伎町みらいカフェ	公益社団法人 日本駆け込み寺	子ども食堂	Tel：03-5291-5720 Mail：info@nippon-kakekomidera.jp （担当：清水）
7	ニコニコ宅配プロジェクト	特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト	食材宅配	Tel：090-3904-2801 （担当：猪爪）
8	サンの家食堂	社会福祉法人サン	多世代食堂	Mail：m.yazawa@yoridokoro.or.jp （担当：矢澤）
9	う～みやスマイルこども食堂	株式会社 アムズシーヴィエス	子ども食堂/学習相談 室	Tel：03-6280-7886 （担当：仲地）
10	う～みやスマイルこども食堂 沖縄料理体験	株式会社 アムズシーヴィエス	料理体験イベント	Tel：03-6280-7886 （担当：仲地）
11	ポッチャ新宿小学生カップ	新宿区スポーツ推進委員協 議会	スポーツ体験	Mail：iihitokajisan@yahoo.co.jp （担当：梶山）
12	大久保スポーツ広場	大久保地域文化スポーツ広 場	スポーツ体験	Tel：090-4208-6850 （担当：梶山）
13	多文化交流会	特定非営利活動法人 みんなのおうち	食事を通した多文化交 流	Mail：natsuhiro66@gmail.com （担当：小林）
14	かれむ子ども食堂	カレム	子ども食堂	Mail：karemkarem202401@gmail.com （担当：クノ）
15	ちびっこ野球教室 「大谷グローブDAY」	新宿区少年軟式野球連盟	野球教室	Mail：tama2322@gmail.com （担当：玉盛）
16	薬物乱用防止コンサート「こ どもたちの未来のために」 （クリスマスコンサート）	新宿区更生保護女性会	薬物乱用防止啓発活動	Tel：03-3268-7610 Mail：yukiko2600@gmail.com （担当：坂本）
17	休日お預かりデイ活動	特定非営利活動法人 えがおさんさん	障害児・兄弟のお預か り型日中活動	Tel：03-3209-8668 Mail：egao33@egaosunsun.net （担当：阪口）

活動名：ユニコーン

団体名：西新宿子ども食堂



活動内容	子ども食堂
開催日時	毎月第2・第4金曜日 17:30~19:00
開催場所	角筈地域センター 7階クッキングルーム
対象者	子ども、保護者

活動紹介

- ・地域の子育て家庭の親子への食事の提供、子ども向けメニューと安心できる食材を使い家庭の味を大事に、調理をしている。現在は事前予約制でお弁当の配付をしている。
- ・参加費は子ども無料（高校生まで）、保護者は300円。非課税世帯・ひとり親家庭は無料

活動を始めた目的

- ・貧困家庭、ひとり親家庭、社会的弱者に寄り添い子どもたちや子育て家庭に「食」を通じて支える活動をする。
- ・困窮家庭の子どもの養育環境など身近な課題について解決に向けた働きかけを行う。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：21回

【延べ参加人数】 幼児 256名、小学生～高校生 766名、大人 536名
ボランティア 90名、スタッフ 272名

活動をしていく中で感じたこと

- ・障がいのある子どもを抱えているため常勤の仕事ができず、経済的に困っている保護者がいる。
- ・経済的に貧しくなくても、家庭の事情で子どもの孤食、貧食があり、参加することで補われている。
- ・地域で活動が広まり、企業や個人から食材・食品等の寄付が増えた。継続的に支援をしてくれている。
- ・スタッフの高齢化により、長い時間の作業がつらくて休む人もいる。地元の企業からボランティアとして調理と受付に毎回お手伝いに来ているが、引き続き、若いスタッフを募集している。

アピールポイント

- ・栄養満点の温かい食事を地域のボランティアスタッフが作っている。子育てママも応援している。
- ・子どもたちや保護者においしいと好評で、やりがいにつながっている。
- ・子どもは地域の宝、子どもを地域で支え、育てる、子どもの笑顔が広がる居場所である。
- ・民生児童委員と連携している。
- ・子どもたちへ毎回季節を感じる可愛い折り紙をスタッフが手作りで配っている。

活動名：新宿こども食堂たんすまち

団体名：新宿こども食堂たんすまち

活動内容	子ども食堂
開催日時	4/19、5/21、6/23、7/22、8/31、9/29、 10/19、11/23、12/22、1/12、2/11
開催場所	新宿区内
対象者	ひとり親・住民税非課税家庭等、経済的困難 で18歳以下の子を持つ家庭



活動紹介

現在は利用者が増えたことに伴い、地域センターでの会食が難しいため、お弁当の配付に切り替えて活動を継続している。また、寄付品、寄付金で購入した食品や日用品のパントリー事業も自主事業と併せて実施している。

活動を始めた目的

地域の子どもの発育期の栄養不足と、社会的孤立を防ぐため

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：11回

【延べ参加人数】子ども 346名、保護者 267名、ボランティア 41名、スタッフ 123名

活動をしていく中で感じたこと

- ・近年は高校卒業まで利用する家庭が増えている。また、利用家庭の高校生6名がボランティア活動に参加しており、中学生に対しては同じ環境の先輩として良いライフモデルとなっている。
- ・子どもが高校生になると保護者の病気リスクが高まる年代となるが、保護者が長期入院する場合に、頼れる親戚がなくても、高校生に対する支援は世の中に少ないと感じた。
- ・携帯電話を持っていない子や、中古スマホを持っていてもキャリア契約していない子がいるため、LINEなどが使えず情報検索する手段を持っていないこともわかった。
- ・今年度は米を筆頭に食材費が高騰して支出が多く寄付食品が減少した。一方で災害も多く寄付金が減少し収入が減った。

アピールポイント

- ・地域の仕出し店と協働して、食品安全衛生上安心できるお弁当をお渡ししている。また、会食していた頃から大盛やおかわりを楽しみにしてくれた方が多いので、ご飯は大盛で提供している。
- ・活動に協賛金がつくことがあり、その場合は季節感を演出した献立にして、利用者にとっても喜んでもらえている。

活動名：子ども食堂

団体名：かしわぎ子ども食堂

活動内容	子ども食堂
開催日時	毎月第2・4木曜日 17:30~18:30
開催場所	柏木地域センター調理室
対象者	柏木地区在住在勤の子どもと保護者



活動紹介

会食を通じて、コミュニティ作りや子育ての孤立を防いでいる。

活動を始めた目的

地域の居場所作りとして始めた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：22回

【延べ参加人数】子ども 483名、保護者 405名、スタッフ 201名

活動をしていく中で感じたこと

子育ての孤立に悩む保護者が赤ちゃんを連れてきた。半年後には赤ちゃんが幼児になり会食に加わり食べている様子を見て「やってて良かった」と感じた。

アピールポイント

- 年代の幅広いスタッフがいること
- 旬のもの、歳時にこだわったメニュー作りがポイント



活動名：ニコニコ子どもパントリーピックアップ
団体名：NPO 法人キッズ未来プロジェクト

活動内容	フードパントリー
開催日時	毎月第4土曜日、第4日曜日
開催場所	新宿区大久保地域
対象者	経済的困難な子どものいる家庭（生活保護・児童扶養手当・非課税・離婚裁判中調停中等）



活動紹介

- ・寄付された品から選んで持ち帰る。
- ・年会費 1 世帯 3,000 円。寄付された品は賞味期限切れの近い物が多く、食品のごみ減量に役立っている。

活動を始めた目的

- ・子どもの貧困問題に胸を痛め、少しでも支援をしたいと考えた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：22 回

【延べ参加人数】世帯数 455 世帯（子ども平均 2.2 名）、ボランティア 123 名、スタッフ 11 名

活動をしていく中で感じたこと

- ・物価高、特に米の値上がりが激しく、量を確保するのに苦労した。

アピールポイント

- ・冷蔵冷凍庫を設置しているため、冷蔵冷凍食品もラインナップにある。
- ・不要な食品を持ち帰ってはゴミを増やさぬよう、必要な物だけ持ち帰ってもらっている。



活動名：ごはんと学び for 東京キッズ

団体名：Tokyo Kids Supporter

活動内容	子ども食堂・学習支援 (地域のごちゃまぜ交流の場)
開催日時	毎月第2水曜日、第4月曜日
開催場所	専福寺(第2水曜日) 若松地域センター(第4月曜日)
対象者	高校生までの子ども、その保護者



活動紹介

地域のための居場所。美味しいごはんと楽しい学びを通して、さまざまな人が楽しくごちゃまぜ交流している。0歳から高校生まで誰でも参加可能。

活動を始めた目的

- ・誰でも気軽に交流できる地域の居場所づくりのため
- ・悩みなどを抱える子どもやその保護者の孤立を防ぎ、多面的な支援や見守りを行うため

令和6年度活動実績(令和7年2月末時点)

【活動回数】 合計：19回

【延べ参加人数】子ども 377名、保護者 165名、ボランティア 35名、スタッフ 100名

活動をしていく中で感じたこと

子どもたちの年齢・地域はさまざまだが、本やゲームを通して楽しいごちゃまぜ交流が生まれている。また、ごはんづくりにも関わってもらうことで、スタッフとのコミュニケーションや、生活スキルを学ぶ良い機会にもなっている。人とのつながりが軽薄になりがちな都心で、こうしたさまざまな人との関わりは非常に重要であり、助けあい支えあうこと、他人を尊重することなど重要な学びになっている。

スタッフが子どもたちの良い面をたくさん見つけることで、家庭や学校以外で褒められることが刺激になり、子どもたちのポジティブな感情を引き出している。こうした取り組みが保護者の安心にもつながるのではないかと期待している。

アピールポイント

- ・ごはんと学びでは、誰でも気軽に立ち寄れる地域の居場所として、さまざまな参加者を受け入れており、子どもも大人も一緒に楽しく過ごせる、ごちゃまぜ交流の良い機会となっている。
- ・学びでは、絵本から専門性の高い英語教材、保護者向けのものまで幅広く用意している。さらに学習支援(指導)や困りごとの相談等も行っている。
- ・専福寺では、100色以上の色鉛筆やクレヨンで絵を描くことや、たくさんのゲームやパズルで遊ぶことができる。お寺ならではの季節ごとの屋外イベントも開催している。

活動名：歌舞伎町みらいカフェ

団体名：公益社団法人日本駆け込み寺

活動内容	子ども食堂
開催日時	毎週土曜日 13:00~18:00
開催場所	公益社団法人日本駆け込み寺事務所内 (新宿区歌舞伎町2丁目42-3林ビル1階)
対象者	歌舞伎町に集まる未成年、近隣の小学生、保護者



活動紹介

活動を開始して約2年半。歌舞伎町に集まるトー横キッズと呼ばれる子どもたちや近隣に住む親子へ無料でごはんを提供している。毎週メニューを考え、季節ならではの特別メニューも用意している。可能な限り素材にもこだわり、子どもたちに心も体も健康になってほしいという思いで、スタッフとボランティアが協力しながら実施している。

活動を始めた目的

歌舞伎町に集まる子どもたちの抱える悩みを解決するため、食事を通して信頼関係を構築し、相談しやすい環境をつくり、問題解決へのきっかけを提供する。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：46回

【延べ参加人数】 子ども 1,644名、保護者 138名、ボランティア 335名、スタッフ 92名

活動をしていく中で感じたこと

歌舞伎町に集まる子どもたちは何かしらの悩みを抱えていることがほとんどである。家出、自傷行為・オーバードーズを繰り返してしまう、学校でいじめに遭ったなどである。しかし、温かい手作りごはんを食べている時は嬉しそうな表情をし、「いただきます」「ごちそうさまでした」「ありがとう」など律儀な子どもたちである。また、ボランティアの様子を見て「今度は一緒に手伝いたい」などと伝えに来てくれる子どももいる。ごはんを食べている時に最近あった嫌な事や今抱えている悩みなどを話してくれることもあり、少しずつ信頼関係を子どもたちと構築し、心の拠り所になれてきたのかなと感じている。

アピールポイント

様々な事情を抱えた子どもたちが集まる歌舞伎町みらいカフェでは、利用する子どもたちからの相談を受けることもある。子どもたちは空腹の時に悪いことやネガティブなことを考えてしまいがちである。さらに子どもたちはコンビニ弁当ばかり食べている。だからこそ、こだわられる範囲で食材に配慮し、無農薬や有機野菜など出来る限り素材にこだわったものを提供したいと考えている。手作り料理をみんなと一緒に囲んで食べることも、子どもたちの心のやすらぎに繋がる。今後も、家庭のような温かい食堂を目指していきたい。

活動名：ニコニコ宅配プロジェクト
団体名：NPO 法人キッズ未来プロジェクト

活動内容	月に1回、米・食材・調味料・乾麺・お菓子・飲料などを家庭に届ける
開催日時	毎月第4日曜日着
開催場所	区内活動拠点から自宅に届く
対象者	経済的困難な子どものいる家庭（生活保護・児童扶養手当・非課税・離婚裁判中調停中等）で保護者が病気などで取りに来られない家庭



活動紹介

- ・寄付された品を段ボール箱に詰めて、家庭にボランティアが届けるか宅配で送る
- ・年会費1世帯3,000円。A4サイズ高さ30センチのダンボール箱

活動を始めた目的

- ・子どもの貧困問題に胸を痛め、少しでも支援をしたいと考えたため

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：11回

【延べ参加人数】世帯数 188世帯（子ども平均2.1名）、ボランティア 44名、スタッフ 11名

活動をしていく中で感じたこと

- ・物価高、特に米の値上がりが激しく、量を確保するのに苦労した。

アピールポイント

- ・家庭ごとに送る物を工夫している。
- ・宗教上食べられない食品は入れないように気を付けている。
- ・なるべくパントリーピックアップに来てもらうよう誘導している。



活動名：サンの家食堂

団体名：社会福祉法人サン

活動内容	多世代食堂 (お弁当、会食、食品等配布)
開催日時	毎月第1、3金曜日 17:00~20:00
開催場所	サンの家(カフェスペース) 高田馬場 1-20-1
対象者	子育て家庭(事情によりご相談にて対応する場合があります)



活動紹介

- ・2019年11月より、お弁当配布を開始し、地域の皆様、関係各所等の協力により現在6年目となる。
- ・お弁当配布と会食での食事提供を行い、食品や日用品などのお渡しも行っている。
- ・ボランティアスタッフの経験を活かし、ほとんどのメニューを手作りで提供している。

活動を始めた目的

地域の皆様の子ども食堂を「始めたい」という想いや過去の経験、食を必要とする家庭があるといった地域の実態、法人の地域貢献の理念が合致したため

令和6年度活動実績(令和7年2月末時点)

【活動回数】 合計：22回

【延べ参加人数】 子ども 932名、保護者 593名、ボランティア 122名、スタッフ 47名

活動をしていく中で感じたこと

- ・食事や食品の提供を必要とする家庭が沢山ある事も間違いないが、同時に人との繋がりや関係性を大切にする家庭も多くいることを感じる。
- ・物価の高騰の影響か、今年度は問い合わせ等が増えた気がする。

アピールポイント

- ・利用者には、理由が何にせよ「また行ってみよう」と思ってもらえるような環境づくり(少しでも言葉を交わす、話に耳を傾ける、子どもが楽しめるような装飾やイベントの準備など)に努めている。
- ・「支援をしている、されている」という関係はなく、一緒に楽しめる時間や空間を目指している。

活動名：う〜みやスマイルこども食堂

団体名：株式会社アムズシーヴィエス

活動内容	子ども食堂、学習相談室
開催日時	毎日開催 16:00~18:30
開催場所	沖縄すろ〜ふ〜どう〜みや飯田橋神楽坂下店
対象者	0才~18才（高校生まで）、保護者



活動紹介

- ・自分でおにぎりを作る（メイン、サラダ、スープは食堂から提供）
- ・挨拶をする（こんにちは、いただきます、ごちそうさま、ありがとうございます）
- ・食事を希望しない場合でも開催時間中は居場所として利用可能（絵本、折り紙、お絵描き道具等あり）

活動を始めた目的

現在、社会問題となっている、子どもたちの孤食、また、核家族・少子化により、地域社会の人間関係も希薄化しており、以前に比べて圧倒的に子どもたちが様々な人たちと関わり合う機会が少なくなっている。変化が激しく、価値観が多様化していく現代社会の中で、子どもたちが心身ともに豊かに成長していくためには、自分自身の価値観や行動、判断の指針をしっかりと持ち、多様な人と繋がり、信頼関係を築く力を育むことが大切である。今、子どもたちが、人と多く関わり合い、大きくなった時に必要な社会を生きていく力を少しでも身に着けられる、そんな場所を創りたいと思った。

食の事業者として、未来を担う子どもたちのために、まずは生きる土台となる「食」のサポートを行いながら、元気に食べ、遊び、学び、多くの人たちとふれあいながら、人の価値観や想いを感じ、子どもたちが安心して過ごせる、地域にとって必要な場所をつくりたいと考えた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：334回

【延べ参加人数】子ども 153名、保護者 92名、スタッフ 4名

活動をしていく中で感じたこと

- ・子ども食堂は困っている人しか利用できないと思っている方が多いが、交流の場や保護者が帰ってくるまで待っている場など、居場所としても利用できることをもっと広めていきたい。

アピールポイント

- ・「自分でできることはじぶんでやろう」という方針のもと、できないことに対しても挑戦してできることを増やしていく等、大人になった時に少しでも役に立つ環境づくりに重点を置いている。

活動名：う～みやスマイルこども食堂 沖縄料理体験
団体名：株式会社アムズシーヴィエス

活動内容	沖縄料理の調理体験
開催日時	6/16、10/20、12/22、3/9 11：00～14：00
開催場所	沖縄すろ～ふ～どう～みや飯田橋神楽坂下店
対象者	0才～18才(高校生まで)、保護者



活動紹介

- ・料理に挑戦し、できた喜び・成功体験を経て食の大切さを学ぶ。また、自分で作った料理をおもちゃのお金でスタッフに買ってもらい、そのお金で景品と交換する「商い体験」をする。
 - ・頑張ったご褒美に沖縄のお菓子を配り、新たな意欲に繋げる。
 - ・「本物の沖縄を伝える」という経営理念のもと、子どもたちに料理・空間を通して沖縄を伝えていく。
- 【内容】6/16 タコライス、ポーポー、10/20 ポーク玉子おにぎり、ふーれんちトースト、
12/22 ポークライス、クリスマスケーキ、3/9 ちらし寿司、パンケーキ

活動を始めた目的

食の事業者として、未来を担う子どもたちのために、まずは生きる土台となる「食」のサポートを行いながら、元気に食べ、遊び、学び、多くの人たちとふれあいながら、人の価値観や感じ、子どもたちが安心して過ごせる、地域にとって必要な場所をつくりたいと考えた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：3回

【延べ参加人数】 子ども 30名、保護者 23名、ボランティア 10名、スタッフ 20名

活動をしていく中で感じたこと

共働きや家事などがあり、親子で一緒に何かを体験する時間が取れていないとの声が多くあった。イベントを通して親子の絆が深くなり、子どもたちも他の子と関わりを持つ中で社会性が育つと思った。これからも料理体験を通し、子どもたちが大人になっても少しでも役に立つ活動を続けていきたい。

アピールポイント

- ・「自分でできることはじぶんでやろう」という方針のもと、できないことに対しても挑戦してできることを増やしていく等、大人になった時に少しでも役に立つ環境づくりに重点を置いている。
- ・活動の中で協調性がうまれ、できることの喜びを体験を通して得られると思っている。

活動名：ポッチャ新宿小学生カップ
団体名：新宿区スポーツ推進委員協議会

活動内容	小学生ポッチャ大会
開催日時	8/25
開催場所	コズミックススポーツセンター 2階大体育室
対象者	区内在住・在学の小学生



活動紹介

- ユニバーサルスポーツのポッチャの新宿区内の小学生の大会

活動を始めた目的

小学生に、障がいのある人もない人も楽しめるユニバーサルスポーツ「ポッチャ」を通して、多様な方々とのコミュニケーションを図れるようにしたいと始めた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：1回

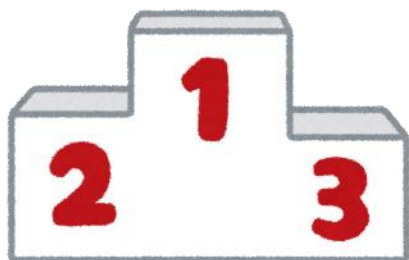
【延べ参加人数】子ども 54名、（保護者 101名）、ボランティア 24名、スタッフ 21名

活動をしていく中で感じたこと

事前準備、会場確保が大変だった。

アピールポイント

区内の小学生から多くの応募があり、夏休み的一大イベントとして、認識されてきている。



活動名：大久保スポーツ広場

団体名：大久保地域文化スポーツ広場

活動内容	グラウンドゴルフ・パドルテニス・ ボッチャ・モルック・フットサル・ タグラグビー・ユニカール 他
開催日時	毎週日曜日 9:30~12:00
開催場所	大久保小学校・戸山小学校
対象者	どなたでも



活動紹介

- ・大久保小学校の校庭ではタグラグビー、フットサル、モルックを行い、体育館ではユニカール、ボッチャを行っている。
- ・戸山小学校の校庭ではグラウンドゴルフ、体育館ではパドルテニスを行っている。
- ・未就学児童から高齢者までのスポーツ広場として開催している。

活動を始めた目的

大久保地域でスポーツを楽しめる地域のコミュニケーションを図る場として、スポーツ推進委員が中心となり、地域（町会）・PTA を含めた方々で設立し、運営している。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：47回

【延べ参加人数】 子ども 830名、大人 800名（うち、保護者 635名）、
ボランティア 280名、スタッフ 160名

活動をしていく中で感じたこと

区内でのスポーツ施設が不足していることから、学校施設を開放することで地域の子どもの体を作りつつ、心の健康を守ることが必要であり、幼児から高齢者までが自由に参加できる場所が大切だと感じている。

アピールポイント

大久保スポーツ広場は学校の協力のもと、毎週日曜日に地域住民がスポーツを楽しめる環境を提供できおり、参加者も毎年増加している。

活動名：多文化交流会

団体名：NPO 法人みんなのうちに

活動内容	各国料理を通した外国ルーツの子どもや家族の相互交流会、地域住民との親睦を深めるための交流会
開催日時	12/21
開催場所	大久保地域センター
対象者	外国ルーツの子どもとその家族、地域住民



活動紹介

「居場所みんなのうちに」を拠点として外国ルーツの子どもや保護者を対象に日本語指導や教科学習支援を行っているが、多文化共生を目指す事業の一環として「多文化交流会」を開催している。

活動を始めた目的

当団体は 2003 年より子どもを介して知り合った縁を「知縁」として地域社会の再生を目指して活動を開始した。新宿区では外国籍区民も多く、多くの外国ルーツの子どもが小中高に通っている。ほとんどの人たちが新宿区に定住する傾向にあるので、地域社会として多文化共生を目指し、活動をしている。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：1回

【延べ参加人数】子ども 61 名、保護者 37 名、ボランティア 7 名、スタッフ 3 名

活動をしていく中で感じたこと

参加者が多文化交流会を楽しんでいる姿を見ると、毎年実施すべきと感じた。

アピールポイント

- ・ボランティアも含め参加者が楽しんでいる
- ・多くの国の人々が交流でき、特に子どもたちが交流できている点が新宿区の将来を感じる。



活動名：かれむ子ども食堂

団体名：カレム

活動内容	子ども食堂
開催日時	毎週火曜日、土曜日 17:00~18:30
開催場所	グレイス曙橋（新宿区住吉町 8-28 B-STEP ビル 1F）
対象者	18才未満の子どもと保護者



活動紹介

おなかもこころもいっぱい！美味しい食事を子どもたちと保護者に無料で提供している。

活動を始めた目的

子どもたちと、育児に奮闘する保護者に栄養のある美味しい食事を提供し、ゆったりとした時間を過ごしてほしいと思った。子どもたちにとってちょっとした心配事を口に出して少し楽になれる場所が、また、保護者にとっても第三の居場所・リラックスできる場所があることで、育児に余裕が生まれればと願っている。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：73回

【延べ参加人数】 子ども 225名、保護者 129名、ボランティア 221名、スタッフ 75名

活動をしていく中で感じたこと

- ・手の込んだ料理は子どもたちの自己肯定感を養うこと、保護者も元気になっていく力があると感じた。
- ・小さな子どもをワンオペで育てている保護者にとっては、子ども食堂で他にも見守りの目があることで、リラックスできているように見えた。
- ・育児と仕事を両立する保護者は、ここに来れば手の込んだ食事が出てくると喜んでくれている。
- ・食事によりリラックスして思春期の子どもたちでも自然といろいろな話をしてくれる。
- ・子ども食堂を通して、地域での新しい人と人とのつながりや、家庭が抱える課題を周りで支えていくきっかけができる等、発展性のある活動だと感じている。

アピールポイント

- ・丁寧に作られた食事から、子どもたちは「大切にされている感じがする」と好評である。
- ・仕事が忙しくて時間をかけて料理をするのが難しいからこそ、子ども食堂の手の込んだ料理が「本当にありがたい」と感謝の言葉をもらっている。
- ・10代の多感な年齢の子どもたちとは、時間をかけて信頼関係を作り、次世代の地域活動の担い手が生まれることを楽しみにしている。

活動名：ちびっこ野球教室「大谷グローブ DAY」

団体名：新宿区少年軟式野球連盟



活動内容	MLB で活躍するロサンゼルスドジャーズの大谷翔平選手が日本の小学校にグローブを寄贈したが、区内の小学校からこのグローブを借用し、小学校低学年を対象にした野球教室を行う。
開催日時	2024年11月2日（土）9：00～13：00 ※この日は雨天中止となった
開催場所	新宿区立西戸山公園野球場 （新宿区百人町4-11）
対象者	新宿区内在学・在住の小学校1年生～3年生（男女問わず）及び当連盟所属チームの選手1年生～3年生

活動紹介

- ・各小学校から借用してきたグローブを使い、グローブのはめ方、ボールの持ち方、ボールの取り方を指導する。
- ・子どもたちの進捗度に応じてTボールによるゲームも行う。

活動を始めた目的

大谷選手から贈られたグローブの使い方は飾ってある学校もあれば、使いたい者が職員室に借りに行くなど各学校でまちまちである。また、そのグローブを使って指導を行っている学校はほとんどなく、そもそも1校に3個のグローブ、それも右利きと左利き用なので数が少なすぎる。そこで1か所に集めて有効に使いたい、せっかく送られたグローブを正しく使って野球に親しんでもらいたい、という目的で活動を始めた。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：1回（雨天のため中止）

【参加予定人数】 子ども 140名（一般90名、会員50名）、保護者 90名、ボランティア 20名、スタッフ 30名

活動をしていく中で感じたこと

- ・各学校では比較的理解を示してくれた。グローブを借用できなかった学校は4校だった。
- ・雨天の場合の予備日を設定しておくべきだった。
- ・予想より多くの子どもたちが申し込みしてくれた。

アピールポイント

- ・野球人気は少しずつ高まりつつある。また、今年のMLBの開幕戦は日本で行われる。
- ・人気選手、注目選手が大勢出てきたので、大谷グローブを契機に、楽しい・正しい野球を普及していきたい。

活動名：薬物乱用防止コンサート

団体名：新宿区更生保護女性会

活動内容	新宿区立中学校の音楽会（吹奏楽部の演奏と薬物乱用防止の解説）
開催日時	12/7
開催場所	牛込筆筥区民ホール
対象者	中学生と保護者



活動紹介

- ・薬物乱用防止活動の演奏会として、吹奏楽の演奏と、違法薬物に関する解説の短い劇を行った。
- ・吹奏楽の演奏では新宿区立中学校3校の合同での開催となった。

活動を始めた目的

区立中学校と協力し、薬物乱用防止の活動を10年間取り組んできた。その取り組みの延長として、中学生とその家族に向け、オーバードーズや違法薬物の危険性について学んでいただく。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：1回

【延べ参加人数】 子ども 133名（出演53名・来場80名）、保護者 70名、ボランティア 57名、スタッフ 13名

活動をしていく中で感じたこと

- ・中学校3校の合同の行事だったので、情報の共有が重要だった。
- ・各校の先生と生徒が協力して、演奏の練習と薬物乱用防止の短い劇の準備をし、目的の薬物乱用防止活動に真摯に取り組んでいる姿に感動した。
- ・薬物乱用防止の解説、楽器の運搬・搬入など、区内の多くの団体（牛込警察・新宿保健所・新宿区役所）に協力してもらったことが有意義だった。

アピールポイント

- ・広い会場での区立中学校合同の演奏会は、子どもたちにとって良い経験になった。
- ・牛込警察署少年係の「薬物の危険性に関する現状」を来場した方々に聞いてもらえたことは有意義だった。

活動名：休日お預かりデイ活動
団体名：NPO 法人えがおさんさん

活動内容	異世代交流・体験の機会の提供・ 休日お預かり活動
開催日時	12/21 10:00～15:00 3/15 10:00～15:00
開催場所	パルシステム東京
対象者	さまざまな難病・医療的ケアのある子ども達、 障がい児とそのごきょうだい



活動紹介

- ・子どもたちをケアできる専門職（看護師・リハビリ・介護士等）、多くの学生、大人になった当事者と一緒に、対象者をお預かりし、楽しいイベントを開催している。
- ・12月には学生企画のクリスマス会、3月には外部講師によるリトミックとプロのカメラマンによる家族写真、記念写真撮影会を企画している。
- ・その他パン作りやクラフトなど盛りだくさんのお楽しみ活動を開催している。

活動を始めた目的

- ・どんな障がい、どんな状態の子も楽しく参加できる日中活動を開催したい。
- ・きょうだいも参加し、オンリーワンを楽しんでほしい。
- ・学生はじめ、異世代交流をしてほしい。
- ・子どもたちをケアできる専門職（看護師・リハビリ・介護士等）がいることで家族には安心して自分の時間をとってほしい。

令和6年度活動実績（令和7年2月末時点）

【活動回数】 合計：1回

【延べ参加人数】 子ども 12名、保護者 11名、

ボランティア：看護師 3名、介護士 2名、学生 13名、その他 1名、スタッフ 4名

活動をしていく中で感じたこと

障がい児を取り巻くサービスは増えてきたものの、それぞれ縦割り個別になっている。更にきょうだいも一緒に参加できる場所はほとんどない。地域で共に参加できる空間の必要性を感じる。

アピールポイント

- ・学生ボランティアが多く、いつもながら活気があり子どもたちの笑顔がこぼれる様子が見られる。
- ・専門の医療福祉スタッフがおり、多様な障害、医療的ケアに対応している。
- ・手作りの昼食を提供して、「みんなでご飯」を大切にしている。